

# おごおり 議会だより

No.193

令和5年2月号

## 笑顔あふれる一年に！



### 地域の人々と初詣

- P 2～4 議会の動き
- P 5～13 市政を問う・一般質問15人
- P 13、14 常任委員会審査報告、議案の主な内容
- P 15 議案審議結果一覧、賛否が分かれた案件
- P 16 3月定例会の会期日程（予定）、編集後記

# 行政視察報告

## 総務文教常任委員会

11月8日に大阪府貝塚市、9日に香川県三豊市を視察しました。

### 新庁舎整備事業について

貝塚市では、「新庁舎整備事業について」視察しました。人口約8万5千人、面積43・93平方キロ。

官民連携に着手されPFI方式の導入により財政効果を得ていたことや、老朽化した市民福祉センター等を統廃合して庁舎内に移設し公共施設の延べ床面積の削減をおこなっていたこと、そして新庁舎内においてワンストップサービスを実現していたことなど、様々な取り組みが目立っていました。

担当職員の方から防災拠点機能や省エネルギー仕様等の様々な設備や機能を聞くにつけ、よ

く練り上げられた利便性の良い庁舎だと感じました。



▲新庁舎整備事業について (貝塚市)

### 夜間中学校と不登校対策について

三豊市では、「夜間中学校と不登校対策について」視察しました。人口約6万人、面積22・7平方キロ。

令和4年度から、既存中学校に「二部学級」として夜間中学校を開設しています。高瀬中学校は三豊市でも一番新しい学校のように、十分な広さと機能を兼ね備えた校舎で、市内の中心部で駅も近く立地も良いところです。

夜間中学校の現在の生徒数は学齢経過者が10名で、この夜間中学校は、不登校特例校として指定を取っており、本年開校と同時に全国で初となる学齢期の不登校生徒1名を受け入れています。このことは、様々な事情で学ぶ機会を逸した方々に再び学びなおす喜びを与えています。また、不登校対策として、行政・学校ワークチームで対応し定期的に家庭訪問、連れ出し登校等支援を行い、不登校児童生徒の減少につながる考えは魅力的な取り組みだと感じました。



▲夜間中学校と不登校対策について (三豊市)

## 保健福祉常任委員会

11月9日に岡山県備前市、10日に兵庫県加西市、11日に兵庫県神戸市を視察しました。

### ヤングケアラー支援の推進事業について

備前市では、「ヤングケアラー支援の推進事業について」視察しました。人口約3万2千人、面積258・14平方キロ。

ケアラー支援の推進に関する条例を令和3年12月に制定しています。

では、なぜ条例を策定したのか。それは支援する側の意識を変えるためでした。支援する側のみではなく、学校関係者等の意識、お手伝いを越えているのではないかという意識を持つてもらうためです。学校との連携もできてきており、研修などを実施することによって、先生からの相談が増えてきているそうです。

ケアラー支援として新たなこ

とを始めたわけではなく、従来からの支援をどう繋げていくのか、その端緒を学ぶことができた視察でした。



▲ヤングケアラー支援の推進事業について (備前市)

### まちづくり協議会の現状について

加西市では、「まちづくり協議会の現状について」視察しました。人口約4万2千人、面積150・19平方キロ。

加西市ではまちづくり協議会のことをふるさと創造会議と呼んでいます。

ふるさと創造会議設立から10年近くが経ち、諸問題も出てきています。



▲まちづくり協議会の現状について  
(加西市)

まず、令和2年11月にプロジェクトチームでの検討を開始。令和3年度には①相談・支援窓口の設置②身近な方々への理解の促進③交流と情報交換の場の設置の3つ施策を実施しています。特に①の窓口設置は全国初。当事者等の相談を受け、支援の調整を担う窓口を設置。この支援の調整が縦割り行政への

そこで、多くの地域課題の解決やこれからの持続可能なまちづくりに向けて、令和2年1月に「加西市協創のまちづくり条例」を制定しました。  
その後、令和4年3月に「加西市地域づくりのあり方指針」が策定され、地域づくりにおける問題点をまとめ、その問題点の整理、将来目指すところも記載されています。その問題点について、一つ一つ丁寧に目指すところを記載しているのがこの指針です。自治会との関係性も当然、記載があります。  
問題点をしっかりと認識し、まとめ、その対策及び将来像を示す。その当たり前のことがで

**子ども・若者ケアラーへの支援事業の現状と取組について**

神戸市では、「子ども・若者ケアラーへの支援事業の現状と取組について」視察しました。人口約151万2千人、面積550.02平方キロ。  
18歳未満の児童だけでなく、20歳代の方も含めて施策の対象としていることから、市民に伝わりやすい名称として「子ども・若者ケアラー」として支援を進めています。

きていることを学ぶことができたと視察でした。

横串を刺すことにポイントを置いていきます。

神戸市に置ける取組の効果として、学校や福祉などの関係者に、ヤングケアラー支援の視点が広がり、家族全体をみる視点を持ち始めました。

①ケアラーに対する知識を持つ

②もしかしたらケアラーなのではないかという視点を持つ③何か支援ができるのではないかと、担当課を越えて協議する。

このようなことは、小郡市でもすぐにでもできるのではないだろうか。早急な意識変革をしなければならぬと感じた視察でした。



▲子ども・若者ケアラーへの支援事業の現状と取組について (神戸市)

**議員研修会**

【保健福祉常任委員会企画】  
（研修テーマ）  
ネット上の部落差別の現状  
（講師）  
西日本新聞社 山口新太郎氏

【保健福祉常任委員会企画】  
（研修テーマ）  
小郡市の同和対策事業と人権のまちづくり  
（講師）  
人権啓発推進専門員 香月浩氏

インターネット上の掲示板やSNSで偏見に満ち、誤った情報が事実として拡散し、部落差別が拡散しています。その根底には、「自分たちこそ差別されている」という「マジョリテイ差別論」があり、それに賛同し支える人たちがいます。

現代の日本社会には、このような誤った情報を信じ込み、差別感情を増幅させる構造があります。これを解決するためには、寝た子をおこすのではなく、正しい情報を伝え人権意識を高める教育・啓発に一層注力する必要性を感じました。

小郡市は同和地区実態調査を行い、収入、住居、就業等一般地区と比較し著しい格差の実態が明らかになりました。これに基づき、市は周辺地域と一体となった建設委員会方式で環境改善に取り組んできました。

本市における同和対策事業の特徴は、環境整備を周辺地域と連携協力して行う建設委員会方式をとったことです。ねたみ意識を生まないためには、同和対策がすべての市民の人権を守り生活向上につながっていることを理解してもらい、ともに人権確立にむけ歩んでいくことを大切にしてきました。これが人権のまちづくりの目指すところだと考えます。

**所管事務調査  
(保健福祉常任委員会)**

令和4年11月21日、小郡市保育協会との意見交換会を行いました。主な内容は次の通りです。

小郡市における数年来の保育課題は、待機児童の解消でした。ハード面では、園舎の新增改築により受け入れ定員を増やすとともに許容される120%の対応を行うことで体制を整備してきました。又保育士の確保は、就職支援金や就職ガイダンス、養成大学との連携など行い、一定の改善がみられるものの未だ厳しい状況が続いており、どの園も保育士確保に苦慮しています。

出産・育児休暇に伴う代替保育士や障がい児にかかわる加配保育士の確保などままならない状況であります。協会側からは、新卒者が就職を決める基準は、賃金など待遇面だけでなく、幼い子どもの保育そのものにやりがいを感じることも大切だとの意見が出されました。

近年増えてきている発達に支援が必要な子どもたちへの対応では、障がい児保育加配保育士の配置が進んでいる

が、十分とは言えません。支援は、臨時職員の給与相当額なので正規職員が担当するあるいは、園の判断で保育士を加配しているところもあり、負担が大きいということですので。障がい児への関わり方については、専門家の巡回相談が行われていて効果を上げていますが、さらに保育士の研修を続け知識やスキルの向上を図っていく必要があるとのことでした。

少子化に歯止めがかからないなか、安心して出産育児ができる環境を整えていくことは行政に課せられた最重要課題です。議会としても積極的にかかわっていききたいと感じました。



**おごおり議会だより  
表紙写真を募集します!**



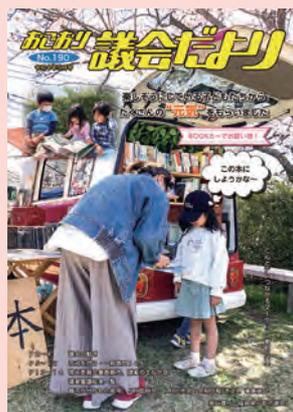
開かれた市議会を目指し、より市民に親しまれる市議会だよりにするために、年4回(5月・8月・11月・2月)発行の「おごおり議会だより」の表紙写真を募集します。みなさまのご応募をお待ちしています!

テーマは「**笑顔**」です。

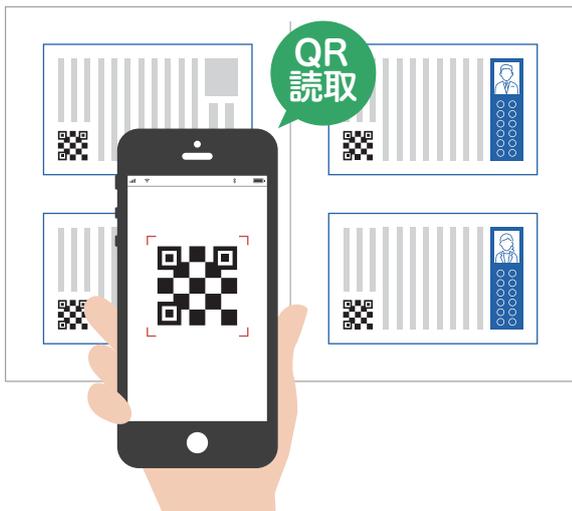
※詳細は小郡市議会ホームページに記載の募集要綱をご覧ください。



《応募いただいた写真を使った議会だよりの表紙です》



# 一般質問のインターネット録画映像が スマートフォン等でも ご覧いただけるようになりました！



## いつでもどこでも

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。

## 録画映像を見るには…

各議員の一般質問の記事の左下にある「QRコード」をスマートフォンやタブレットで読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集されたものです。  
会議録については、議会ホームページのほか、議会事務局、各コミュニティセンター、図書館でもご覧いただけます。

個人質問														代表質問																	
4	3	2	1	1	3	2	1	1	2	1	1	2	1	3	2	1	3	2	1	1	2	1									
自主避難所について	新体育館について	人に優しいまち小郡実現のための歩道の整備について	市道における工事の管理について	高齢者の貧困対策について	学用品のリユースについて	生理の貧困問題について	カスターハラスメント対策について	企業誘致について	インクルーシブ教育	学校教育	今、市民の暮らしといのちを守るために！	道路維持管理について	防災備蓄品について	城山公園整備について	小郡市景観条例について	自治体DXの進捗状況と今後の取組み	障がい児の子育て支援	隣保館の建設について	福童地区の治水対策について	甘木鉄道新駅について	鴨のまちプロジェクトについて	給食センターについて	あすてらすについて	学校施設・備品について	補修工事について	市庁舎の整備について	子宮頸がん発症予防について	図書館について	小郡市におけるシティプロモーションの取組みについて	大型商業施設誘致に向けた新たなまちづくりについて	人事管理について
大場 美紀			後藤 理恵	佐藤 源	立山 稔	田中 雅光	小坪 輝美	小野 壽義	内山 伸博	新原 善信	高木 良郎	深川 博英	橋間 順平	甲斐田典彦	川野 悦子	黒岩 重彦	みらいの会代表														

12月定例会一般質問通告一覧表



黒岩 重彦  
(みらいの会)

大型商業施設誘致に向けた新たなまちづくりについて

本年3月にコストコと小郡市とが立地協定を取り交わして以来、市は大型商業施設の誘致に向けて福岡県と開発協議を進めています。表立った動きがつかめていないので、「本当に2026年（令和8年）までに開店が可能なのか」現時点での進捗状況についてお尋ねします。

**市長**—現在、福岡県都市計画課と協議中であり市街化調整区域内の地区計画における位置づけを行い、それを踏まえた上での農政部局との調整も行っています。大規模集客施設の立地に伴う交通渋滞対策については、主要地方道久留米筑紫野線のインターチェンジ周辺の交差点の交通量調査を実施しており、今後交通量解析の結果を基に関係機関と協議を進めていきます。

大型商業施設の店舗への出入口はどこを考えていますか。

**都市建設部長**—店舗側の計画で

ですが、東側の久留米筑紫野線側から2箇所、北側の市道10号線から4箇所、西側の旧久留米筑紫野線から1箇所で合計7箇所となっております。

通学路からの出入口もありますが、周辺の安全対策と地元協議についてどのようにお考えでしょうか。

**都市建設部長**—具体的な対策については地元の方々と協議していきたいと思っています。

治水対策についてお尋ねします。

**都市建設部長**—石原川並びに鎗巻川の流域治水の基本計画を策定し河川のネットワークの改修を行い、併せてため池の貯留機能を拡充させていきたいと思っています。

今後のスケジュールについてお尋ねします。

**市長**—福岡県都市計画課の協議や福岡県都市計画審議会、都市計画マスタープラン等検討専門委員会での判断により、今後の具体的な日程見通しを立てていきます。



川野 悦子  
(れいわ政策研究会)

小郡市のシンボルマークである叶え星文様について

本市の第三のシンボルマークとして誕生し3年目となる叶え星文様の活用と今後の展開についてお尋ねします。

**環境経済部長**—今後の展開として、女性の就業、起業を支援する「おうち起業応援講座」のOBの方が行っているマルシェと

叶え星文様のマルシェを連携して行います。特に、子どもたちに使ってもらうことで、ご家族をはじめ多くの市民の方にPRすることができると考えますので、ほかの部署や関係団体と連携をして、より一層PR強化に取り組んでいきたいと考えています。

全ての子どもたちに向けて学校の儀式関係での活用を提案します。いかがでしょうか。

**教育長**—小郡を大切にしようという郷土愛に関わることにものなるかと思えます。教育大綱のほうにも、郷土の未来を開く人を

育てるということをうたっておりますので、そうした取組は教育委員会としても大事にしていきたいと思っています。子どもたちの志や願いを叶えるという意味合いを重ね、教育委員会関係の会議や研修の要綱の表紙には、積極的に叶え星文様を活用させていただいているところです。儀式関係での活用のご提案については今後、市の担当課等とできる協議はしていきたいと思っています。



【叶え星文様】





甲斐田 典彦  
(公明党)

図書館について

①電子図書は久留米広域連携  
中枢都市圏4市2町で共同運用  
を検討されていますが、導入時  
期について②障がいのある方  
に対し読書バリアフリー法に基  
づく読書環境の整備についてお尋  
ねします。

市長―①運用開始時の電子書籍  
の内容、経費負担割合、運用開  
始時期等は久留米市を中心に意  
見を取りまとめ検討しています。  
交付金等を活用し早い時期の導  
入を目指し予算確保に努めます。  
教育長―②大活字本、点字図書、  
デジタル録音図書の充実や来館  
が困難な方に対する宅配サービ  
ス、インターネット図書館（サ  
ピエ図書館）への加盟。更に今  
後、電子図書の導入で読書を楽  
しむ環境整備に努めていきます。  
子宮頸がん発症予防について  
①HPVワクチンの定期接種  
及びキャッチアップ接種対象者  
への周知方法、直近の接種率、  
市民の反響について②感染予防

効果が高い9価ワクチンの定期  
接種に伴う対応、対象者への周  
知方法についてお尋ねします。

市長―①令和4年5月に定期接  
種対象者、6月と10月にキャッ  
チアップ接種対象者へ通知をし  
ています。対象者の11%が3回  
の接種を終了しています。②国  
より令和5年4月1日から9価  
ワクチンの使用決定が通知され  
ています。今後、国からの様々  
な情報を精査しながら、積極的  
に通知の方法等を検討し、対象  
者に分かり易く判断頂けるよう  
な情報提供を進めていきます。  
子ども・健康部長―①通知後は  
対象者の家族からの問合せがあ  
り、ワクチンの効果や安全性に  
ついて丁寧の説明しています。

市庁舎の整備について  
市庁舎敷地内の整備・点検方  
法についてお尋ねします。  
市長―管理業務を委託し、定期  
巡回により点検や維持管理に必  
要な修繕を行っています。第3  
駐車場案内板については、来庁  
者が確認し易いよ  
うに設置を検討し  
ます。



橋間 順平  
(れいわ政策研究会)

学校設備・備品について

三国中学校の①プールに発生  
した藻について②校庭のメタセ  
コイアの伐採や伐採跡地の整備  
について③吹奏楽部の楽器購入  
について④クラブ活動の在り方、  
運営についてお尋ねします。

教育長―①今年度はプールの藻  
は除去しました。藻が発生する  
1番の原因は、塩素濃度不足が  
考えられますので塩素濃度の管  
理の徹底を図ります。②メタセ  
コイアの伐採や伐採跡地の整備  
の在り方は安全・安心な教育環  
境を第一に学校と協議を行って  
いきます。③吹奏楽部の楽器は  
学校備品の予算の範囲内で計画  
的な購入をお願いしていますが、  
個々の楽器が高額であるため、  
1校で全ての楽器を十分に整備  
することは難しく、他の学校や  
他市町村でも、お互いに貸し借  
りすることで対応している現状  
です。④国、県は土日の部活動  
を地域へ移行する方向性です。  
令和5年4月以降に小郡市部活

動改革協議会で推進計画策定を  
協議し適切な改革を進めて行く  
予定です。

全小中学校の体育館へのWi  
・Fi設置についてお尋ねしま  
す。  
市内の小・中学校13校の体育  
館にWi・Fi環境を整備する  
ための補正予算案を計上し3月  
の卒業式に間に合うように整備  
していきます。

三国小学校の特別支援教室・  
特別教室の改築改善により学校  
生活環境を整え、児童が安全・  
安心に学校生活が送れるよう設  
備改善についてお尋ねします。  
三国小学校教室、特別教室は、  
令和5年度は2学級減少する見  
込みです。学年の教室配置や特  
別支援学級の配置を考慮しなが  
ら、学級数減少で空いた教室活  
用を検討していきます。学校施  
設は児童・生徒が1日の大半を  
過ごす施設であり、子どもたち  
の安全・安心を確保することを  
第一に考え、教育環境の充実に  
取り組んでいきます。





深川 博英  
(みらいの会)

**給食センターの建設予定地について**

5箇所の建設予定地を選出した基準を教えてください。

**教育部長**―市が保有している土地から5箇所を選考しました。

最適地が大原中学校の敷地内でしたが、現センターの北側に変更になった経緯を教えてください。

**教育部長**―現センターの北側には善風塚古墳という史跡があるという誤認識が判明したことで、今年度になりまして再度候補地を見直し、大原中学校の敷地内より現センターの北側が有利であるという判断をしました。

善風塚跡を壊してでも、給食センターを建てようということですか。

**教育部長**―善風塚跡がぎぼうの森になっています。ここは日常的に子どもたちの遊び場になっています。また地域の方も含め、憩いの場であったり、地域のシンボルになっています。それか

ら大原合戦という歴史的な価値の意味のある場所というふうに考えていますので、ぎぼうの森をなくすということは考えていません。

ぎぼうの森の土地は一部大保の方から寄附をしていただいています。子どもたちのために、ぜひ緑を残してほしいというところで、小郡市に対して寄附をされました。その件についてどのようにお考えですか。

**教育部長**―当時墓地を改葬されただけにして寄附されたというものです。そういうものを大切にしてこられた地域の方もおられますので、ぎぼうの森の保存等については相談して協議していかなければならないと考えています。給食センターの建設と併せてぎぼうの森の安全、安心な子どもたちの憩いの場、歴史的な価値、地域の方たちの思い、そういったものを大事にしながら、今後協議をしながら整備をしていきたいと考えています。



高木 良郎  
(みらいの会)

**甘木鉄道新駅について**

大原新駅建設に対する経緯についてお尋ねします。

**市長**―大原新駅については平成30年1月に策定した甘木鉄道中長期ビジョンの中で設置に係る内容を掲載していますが、建設時期、内容、費用は未定です。

平成26年当時、事業費を試算したと思いますが、如何ですか。

**経営政策部長**―当時の概算の整備費は2億円強と聞いていますが、用地買収費等は未算入です。当時と違い現在では新駅建設はパーク・アンド・ライドという考え方で駅舎以外に駐車場・広場・進入道路の整備等の新たな費用がかかります。そこでの経済効果はどうですか。

**経営政策部長**―新駅から3000mの範囲での住宅及びそれ以外の一定面積の産業系の土地利用も見込め、雇用と税収増も十分期待出来るのではと考えます。新駅建設の費用は基本的に小郡市負担で財政上の問題もあり

ますが、鳥栖インターの周辺で鳥栖市、基山町との有利な立地条件です。出来るだけ早く着工して頂きたいです。如何ですか。

**経営政策部長**―小郡市が主体的に進めていく事業と認識して甘木鉄道としっかり協議します。

**福童地区の治水対策について**

インター完成時における治水と開発の整合性をお尋ねします。

**市長**―排水施設中心とする整備は福童地区一帯を下水道区域に取り込み、国の補助金を活用し8年度に設計に着手したいです。

福童地区の治水対策の年次計画をお尋ねします。

**都市建設部長**―法司川の関係もあり流域治水という形で調査を行い、下水道区域の事業認可区域に入れる手続きを5年度から始めていきます。

大きな課題は何ですか。

**都市建設部長**―下水道区域に入るための土地利用と市街化区域に編入することです。

国土強靱化事業は使えますか。

**都市建設部長**―7年度が期限なので治水対策活用は難しいです。





新原 善信

**障がい児の子育て支援に力を**

新生児から就学までの連続的な支援、親への支援、市役所内の連携についてお尋ねします。

**市長**—新生児から就学までの連続した支援は、乳幼児全戸訪問や乳幼児健診、保育所等への発達巡回相談や保育所等訪問支援を実施し、切れ目ない体制で早期発見、早期支援を行っています。親への支援では、皆様に大変喜ばれているサポートブック「つなぐてとて」の作成支援を、補助金のみならず民間等の支援制度について「あつとほーむ」と協議を行っています。ホームページの情報提供は、保護者の視点に立った分かりやすい構成内容に努めます。また、子育てに悩む保護者がスキルを学ぶ講座に取り組みます。最後に、どこに相談されても確実に相談窓口につながるため、関係課で構成する利用者支援連絡会で情報の共有を行います。



**自治体DXって何？どう変わる？**

小郡市の自治体DXが目指すものは何であるか、市役所の姿がどう変わるのかお尋ねします。

**市長**—小郡市DX推進の基本理念をデジタルが使える人だけでなく、苦手な人や使えない人にも恩恵が受けられるように配慮しながら、市民の利便性の向上や業務の効率化を進め、セキュリティ対策などにも留意して推進することとしています。窓口業務ではオンライン手続や手続のデジタル化、簡素化による利便性の向上に向け検討を進めています。市民への情報提供は、広報紙、ホームページに加え、LINEやツイッターなどのSNSの活用に取り組んでいます。業務効率化では、コミュニケーションツールのグループウェアやファイルサーバーの活用で情報共有するなど効率化を図っています。



内山 伸博  
(みらいの会)

**小郡市景観条例について**

平成29年度に策定された小郡市景観条例のうち景観形成重点地区における花立山地区の区域及び建築物の高さ制限についてお尋ねします。

**市長**—平成29年9月に小郡市景観計画を策定しています。この計画において、本市は全域が景観区域となっており、特に地域の特性を生かした景観の保全及び形成を重点的に図る区域を景観形成重点区域とし、一般基準とは別の地区の特性に応じたきめ細かなルールを設け、積極的な景観形成を推進しています。花立山地区の建物については、麓の田園地域から見た際、稜線を切るような高層建築は避け、低層の建築物となるような基準を設けています。

**都市建設部長**—花立山地区の区域については、西は久留米筑紫野線、北は干潟第1工業団地から東は筑前町との境、城山堤から地形に沿って久留米筑紫野線

までの区域です。低層の定義については、具体的に景観計画ではうたっていない。

**城山公園整備について**

インター周辺まちづくり構想における城山公園の位置付けと今後の整備計画と小郡市強靱化計画における且田ヶ浦堤の役割についてお尋ねします。

**市長**—インター周辺まちづくり構想における当地区の基本的方向については、自然、歴史資源を生かした観光まちづくりを推進するゾーンとしています。公園内にあるため池の役割としては、農業用ため池としての利用とボートの貸出しを行い、市民の憩いの場となっています。

**環境経済部長**—小郡市強靱化計画における且田ヶ浦堤については、鎗巻川への流入量を軽減することで河川の氾濫及び内水氾濫による浸水被害の軽減、遅延活用するようになっていきます。また、開発により受益地としての農地が減少すれば、利水から治水へと利用でき、流域治水対策の1つとして活用できます。

ます。





小野 壽義  
(おごおり創志会)

**道路維持管理について**

①側溝は点検されていると思えますが、土砂が堆積して側溝の機能を果たしていない箇所があります。土砂の撤去について  
②街路樹の落ち葉が歩道や住宅の庭などに散乱しています。落ち葉の清掃について  
③点字ブロックに雑草が生え、また覆いかぶさっている箇所などがあります。この点字ブロックについては「おごおりっ子からのメッセージ」で小学校6年生が「私たちの町の姿」と題して発表をされました。子どもたちをはじめ、市民が安心して生活できるように「まち」について市の対応をお尋ねします。

**市長** ①③側溝の土砂撤去と点字ブロックは道路パトロールで随時確認しています。しかし、全ての道路を詳細に確認できておらず、区長や市民の方から情報提供いただき土砂の撤去やブロックの交換、補修を行っています。②落ち葉の清掃は落葉状

況を確認しながら適切な時期に清掃作業車で回収をしています。気象の変化で実施時期が遅くなる年もありますが、今後も維持管理に努めます。

**防災備蓄品について**

近年、巨大化する台風や線状降水帯、また今後予想される巨大地震など、一時避難と長期避難では備蓄品の使用量が異なりますが、現在の備蓄品で十分ですか。また、第一避難所となる各コミュニティセンターには日用品の「おむつ」や「生理用品」が備蓄されていません。常時備蓄についてお尋ねします。

**市長** 小郡市災害時備蓄計画を策定し、県防災アセスメントから市の被害想定最大値は人口3万9009人、世帯数は最大1万4383世帯と算定され、この10%に当たる4千人、1400世帯を目安として食料1日3食分以上、日用品3日以上を目標に備蓄数量を算出しています。**経営政策部長** 備蓄品目に応じた適切な備蓄方法を検討していきます。



小坪 輝美  
(日本共産党)

**今、市民の暮らしといのちを守るために！**

**(1)国民健康保険税(国保税)について**

高すぎる国保税については、他自治体においても課題になっています。国保の加入者の多くは、高齢者・年金生活者や病氣などで働けない無職者・低所得者です。コロナ禍や物価高騰で暮らしが大変になってきている住民の負担軽減のために、自治体によっては国保税の引き下げを行っています。国保税は、県が示す標準保険料率を参考に決めていきます。田川市においては、この標準保険料率に近づける形で引き下げを実現しました。小郡市の国保税は、標準保険料率で算定したもののより高く設定されています。近年小郡市においては、国保特別会計は単年度黒字、基金も増えていることを考えると引き下げが可能であると考えます。そこで、小郡市における国保の今後の方向性

についてお尋ねします。

**市長** 今後は少子・高齢化の進行に伴う被保険者数の減少や医療技術の高度化で、1人当たりの医療費が高騰することを想定し、国保財政を取り巻く状況は厳しくなるものと考えています。基金の取り崩しや税率改正の必要性などについて、国民健康保険運営協議会に意見を図りながら慎重に審議、検討を進めていきます。

**(2)子育て世帯支援について**

コロナ禍や物価高騰が子どもへの育ちにも大きな影響を与えています。この状況から子どもを守るためにも就学援助の認定基準の引き下げや拡充、全国的にも進んでいる学校給食の無償化を小郡市でも実現して頂きたいと思えます。小郡市の今後の支援の在り方についてお尋ねします。

**市長** 今後の子育て相談の体制整備について、国、県の方針に基づき、相談体制の一元化を図っていくための制度設計の検討を行っています。





田中 雅光  
(公明党)

**教育機会の確保について**

教育の機会を逃してしまう理由は様々ですが、在学中の大きな要因として不登校があります。対応するために教育センターにおいて適応指導教室リンクを運営されていますが、校内に適応指導教室を設置することが有効と感じますが、市では何校で実施をされていますか。

**教育長**—正式なシステムとして校内適応指導教室の設置ができているのは、小郡中学校1校です。県の事業を受けて、そのための専任の加配教員が1名配置をされています。ただ、人的な体制が整いにくいので、スタッフを確保していければ、校内での適応指導教室をシステム化していくことは非常に効果があるのではないかと考えています。

**夜間中学校設置について**

夜間中学校は検討されていないというのですが、学齢経過者の教育機会の確保について、義務教育時期以降にどの部署が

掌握していくかということも非常に課題になってきます。市全体で受け止めていくことが大事だと思えますが見解を尋ねます。

**教育部長**—学齢経過後も教育機会を得ることができていない人に対する支援体制の構築ということですが、非常に大事な課題であつて重要性は認識しているところですが、教育委員会だけで対応できる問題ではないので、枠を超えた関係機関、それから福祉関係部局や地域組織、幅広い協議の中で構築されていくべきものではないかと考えているところです。

**インクルーシブ教育について**

特別支援教育の充実は非常に大事ですが、教職員の専門的な資格取得は進んでいますか。

**教育長**—これまで特別支援教育に係る資質、能力は国の指針の中の指標には設定されていますが、来々4月から入っていくことになるので、今後、研修また特別支援学校の免許取得に係る奨励等は強く進められると認識しています。



立山 稔  
(れいわ政策研究会)

**企業誘致について**

企業を誘致するには、民間の活力・企業の進出意欲に頼らざるを得ない事は十分理解していますが、現状では物流業、倉庫業がほとんどのようです。多様な業種、業態を呼び込む事がさらに魅力あるまちづくりにつながると思いますが、そういう点で、現在策定中の小郡市都市計画マスタープランに、これまでも違う将来都市像を入れていけるのかをお聞きします。

**市長**—筑後小郡インターチェンジや鳥栖ジャンクション、新たに設置されるスマートインターチェンジ周辺も含めた計画的な土地利用を図り、現在策定中のインターチェンジ周辺まちづくり構想案の中でも、周辺道路を生かしながら、工場、商業、流通業務機能を中心とした企業誘致、雇用の場の創出を図るとしています。

**都市建設部長**—これまでの都市計画マスタープランを継続して

いく部分と、新たに入れる部分、それを全体的に県の区域マスタープランとの整合性を図っていく中で、新たな部分を見いだしていきたいと思っています。

**環境経済部長**—今後は、現在進めているインターチェンジ周辺まちづくり構想により、土地利用の明確な方向性を示し、計画的な土地利用や、企業誘致に取り組みたいと思っています。

**景観地区について**

平成30年に策定された小郡市景観条例の中で花立山、城山公園の周辺は市民の憩いの場として重要な景観地域であり、その景観を守るために、借地契約されているようですが、どのくらいの面積を借地され、どのくらいの予算が使われていますか。

**都市建設部長**—現在、全面積で約25万平方メートルについて借地をしており、あと約12万平方メートル弱のところを契約しているところと、継続してお願いしているところは約250万円程度を毎年支出しています。





佐藤 源  
(おごおり創志会)

### カスタマーハラスメント（カスハラ）対策について

カスハラに対する市の考え方について、さらに、どのようにしてカスハラ対策を市内事業者へ浸透させるのかお尋ねします。

**市長**—民間企業においては顧客からの暴言や言いがかりを受けるカスハラは社会的な問題となっており、近年自治体をはじめとした公務職場でも地域の住民からの迷惑行為や執拗なクレームを受けたという事例が報道されるようになりました。カスハラは業務への支障や対応する人への精神的な疲弊が発生するものであり、人権侵害であるハラスメントの1つとして社会から無くしていく取組を進めていく必要があると認識をしています。**環境経済部長**—市内事業所においてもカスハラ被害に遭っていることが想定されます。カスタマーハラスメント対策企業マニュアルが厚労省により作成されています。今後、商工会等と連

携してマニュアルの周知を行っていきたくと考えています。

最近では公務の場でもカスハラが話題になっていますが、小郡市でも発生していますか。

**経営政策部長**—コンプライアンス条例で不当要求に対応しているケースはあります。

コンプライアンス条例の目的は、「職員が不当要求に屈して、倫理観をなくし、不公平かつ不公正な職務の遂行をしてしまつたら、市民の信頼がなくなるので駄目」だということだと思えますが、この条例で職員を守る事ができていますか。また、市民の利益の保護ができていますか。

**経営政策部長**—この条例の最終的な目的は、市民の公共的な利益を保護することです。また、職員が1人で苦しんで対応すると、最終的に不当要求に屈して、市民の不利益につながりますから、まずは職員を守るということが必要だということをお尋ねする趣旨に入れていくと考えています。



後藤 理恵  
(みらいの会)

### 高齢者の貧困対策について

長寿大国の日本は65歳以上の高齢者が総人口に占める割合は、2021年に29.1%となり、世界で最も高くなりました。さらに、2040年には35%を超える推計がされており、高齢化が進むと同時に高齢者の貧困問題が注目されています。

日本では、平均年収よりも低い収入で暮らす人々が今6人に1人という深刻な現状で、特に高齢者、単身高齢者、女性高齢者などが様々な社会背景の中で貧困に陥っています。

本市の生活保護世帯の状況は、全体300世帯のうち、高齢者世帯は160世帯で、男性50世帯、女性94世帯、夫婦16世帯と、高い割合を占めています。

そこで、具体的に高齢者が抱えている課題や現状、行政が果たすべき役割等についてお尋ねします。

**市長**—令和4年4月1日現在の高齢者数は1万6774人で、

高齢化率は28.3%、高齢者のうち非課税世帯の割合はおおよそ25%となっています。

小郡市でも独居高齢者は3900人を超え、日常的な買物や交通手段に苦慮している高齢者もおられます。住民主体による自治会バスや買物支援など校区ごとに地域課題に取り組みされていますが、地域の実情に合った支援策を共に検討していく必要があります。また、コロナ禍による高齢者のひきこもりで、介護予防に必要な運動、栄養、交流に影響があり、状態が悪化した高齢者が増えていますので、フレイル予防が課題であると認識しています。

さらに、本市の保護世帯に占める高齢世帯の割合は高く、今後とも増えるものと考えています。高齢者の困窮支援については、各分野連携の下、高齢者福祉、生活保護、生活困窮者自立支援事業等の公的支援を基軸にしなが、高齢者に寄り添った支援を行っていきたくと考えています。





大場 美紀  
(おごおり創志会)

道における工事の管理について

工事がおこなわれた後、グリーンベルトや白線など、元の状態に戻す必要があります。しかし原状回復が徹底されていない箇所が見受けられます。上下水道及びガスの引き込み工事や管類を埋設するなど、市道の工事を民間業者が行う場合、市が許可を出されますが、施工後の確認はどのようにされていますか。また原状回復できていない箇所をどのように考えますか。

**市長**—工事発注や道路占用許可の際には、路面復旧構造図を示し、復旧する面積や舗装の厚さなどについて、施工業者へ指示しています。完了後は、完了届の写真や現地目視などにより路面復旧の確認をしています。

下水道については十分に確認できていますが、占用申請者の管理物となる上下水道やガスについては、一部確認が不十分な箇所がありました。

原状回復ができていない箇所

においては、現地の状況を確認し関係会社と調整のうえ、改善します。今後は原状回復の確認方法を見直し、徹底していきま

自主避難所は誰のために何のために・

自主避難所は、基本的に必要なものは全て持参するものと理解しています。しかし、免許を返納された方（高齢者）などは、徒歩または自転車での避難所へ向かわれ、毛布など重たいものは持つていくことができません。毛布を借りることができずに「もう避難したくない。帰りたい。」と思われるような避難所開設でいいのでしょうか。

**市長**—一時的な避難に必要なものは持参いただくようお願いしていますが、持参できない方については、必要に応じて備蓄品を提供しています。災害という危険を感じる不安な時だからこそ、寄り添った柔軟な対応を心がけていきます。



常任委員会  
審査報告

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会は、12月7日に開催され、付託を受けた執行部提出案件10件（分割付託3件を含む）の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

**小郡市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第35号）**

国家公務員に合わせ、令和5年4月1日に施行される地方公務員法の改正により、定年年齢が令和5年度から令和13年度にかけて段階的に引き上げられることとなりました。

主な改正内容としては、定年年齢を65歳とすること。管理監督職勤務上限年齢制、いわゆる役職定年制ですが、それを規定しています。役職定年の例外措置や降任等の特例等の規定、定年前再任用短時間勤務職員の任用に関する規定及び情報提供・意思確認制度の創設などとなっています。

問：定年制が施行されて、役職を管理職のままというような例として、具体的にどういうことが考えられますか。

答：役職定年の例外的な対応だと思えますが、市に当てはめた時に想定されるも

保健福祉常任委員会報告

のとしては、特別なプロジェクトの継続中で、管理職が離れるとプロジェクトの継続に支障が出るといった場合、職務の特殊性とか、欠員の補充が極めて困難な状況等があると考えています。

保健福祉常任委員会は、12月8日に開催され、付託を受けた執行部提出案件7件（分割付託3件を含む）の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

**専決処分を報告し、承認を求めることについて（令和4年度小郡市一般会計補正予算（第5号））（報告第15号）**

歳出、3款1項9目価格高騰緊急支援給付金事業2億9,140万3千円の増額です。

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付する全国一律の事業です。

可能な限り早い時期に給付を開始するため、市長専決予算として計上し、承認をお願いするものです。

問：家計急変家庭は、自分が該当するということがわからなければ申請されないですが、どのように周知されますか。

答：1月2日以降に家計が急変して、非課税相当レベルまで家計が苦しくなっている方が対象になります。

そういった方々に対して広報紙、ホームページ、社協等での情報提供等を行い周知していきます。

**都市経済常任委員会報告**

都市経済常任委員会は、12月9日に開催され、付託を受けた執行部提出案件5件（分割付託2件を含む）の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

**令和4年度小郡市一般会計補正予算（第6号）の承認について（議案第39号）**

地域活性化起業人活動事業19万5千円の増額と債務負担行為補正で地域活性化起業人活動事業778万円については、首都圏等、三大都市圏に勤務する企業の社員が、そのノウハウや知見を活かし、地方自治体において、地域独自の魅力や価値の向上、安心・安全につながる業務に従事することで、地方自治体と企業が協力して地方圏へのひとの流れを創り出していけるような取組に対し、国が必要な支援を行う事業です。

問：地域活性化起業人活動事業を活用してどのような小郡市にしていきたいと考えていますか。

答：例えば食を専門とした企業であるとか、旅行を専門にした企業であるとか、それぞれで取り組みが変わってきますので、事業者の気遣みやその内容をしっかりと吟味して、より小郡市の活性化に繋がるような事業者を選定していきたいと思っております。

**議案の主な内容**

★小郡市議会議員及び小郡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第36号）

公職選挙法施行令改正に合わせ、小郡市の市議会議員選挙、市長選挙における「選挙運動用自動車の使用」と「選挙運動用ビラ作成」、「選挙運動用ポスター作成」の公費負担にかかる限度額を引き上げるものです。

★小郡市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定について（議案第37号）

駐輪場の位置を旧駐輪場から新駐輪場へ移設することに伴い、条例の一部を改正するものです。

★地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（議案第38号）

★令和4年度小郡市一般会計補正予算（第6号）の承認について（議案第39号）

今回の補正予算は、物価高騰等により不足する経費のほか、子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給する事業などを予算化し、繰越明許費の設定、債務負担行為及び地方債の補正を併せて計上するものです。

★令和4年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認について（議案第40号）

保険給付費の増額及び補助金の確定に伴う償還金の増額等を願うするものです。

★令和4年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認について（議案第41号）

育休代替職員を雇うため計上したものです。

★市道の認定について（議案第42号）

新たに小郡・大崎3606号線を認定するものです。

★小郡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第43号）

★小郡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第44号）

★特別職の職員で常勤のものとの給与、旅費及び退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第45号）

★小郡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（議案第46号）

★令和4年度小郡市一般会計補正予算（第7号）の承認について（議案第47号）

★令和4年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）の承認について（議案第48号）

★令和4年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）の承認について（議案第49号）

★令和4年度小郡市下水道事業会計補正予算（第3号）の承認について（議案第50号）

議案第43号から第50号について

では、人事院勧告に基づき、一般職の国家公務員の給与改定が行われることを踏まえ、本市一般職員、再任用職員及び会計年度任用職員の給料表、期末・勤め手当について、条例の改正を行うものです。

★久留米市外三市町高等学校組合の解散について（議案第51号）

三井中央高校の閉校に伴い、久留米市外三市町高等学校組合を解散するため、地方自治法第288条及び第290条の規定により、議会の議決を求めます。

★令和4年度小郡市一般会計補正予算（第8号）の承認について（議案第52号）

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する事業が創設されたことに伴い、事業実施のために必要な経費を予算化するものです。

**人事案件**

「教育委員会委員」  
小郡市稲吉 山田 英昭

## 令和4年12月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第15号	専決処分を報告し、承認を求めることについて（令和4年度小郡市一般会計補正予算（第5号））	承認
議案第35号	小郡市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第36号	小郡市議会議員及び小郡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第37号	小郡市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第38号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第39号	令和4年度小郡市一般会計補正予算（第6号）の承認について	可決
議案第40号	令和4年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認について	可決
議案第41号	令和4年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認について	可決
議案第42号	市道の認定について	可決
議案第43号	小郡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第44号	小郡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第45号	特別職の職員で常勤のもの給与、旅費及び退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第46号	小郡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第47号	令和4年度小郡市一般会計補正予算（第7号）の承認について	可決
議案第48号	令和4年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）の承認について	可決
議案第49号	令和4年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）の承認について	可決
議案第50号	令和4年度小郡市下水道事業会計補正予算（第3号）の承認について	可決
議案第51号	久留米市外三市町高等学校組合の解散について	可決
議案第52号	令和4年度小郡市一般会計補正予算（第8号）の承認について	可決
同意案第4号	教育委員会委員の任命について	同意

### 賛否が分かれた案件

議員名	川野悦子	内山伸博	黒岩重彦	甲斐田典彦	橋間順平	佐藤源	深川博英	小坪輝美	小野壽義	高木良郎	大場美紀	立山稔	後藤理恵	佐々木益雄	田中雅光	山田忠	新原善信
議案第51号								×									

●議長（井上勝彦）は表決に参加しません。

### 3月定例会の会期日程(予定)

2月22日(水)	本会議(議案上程)
2月27日(月)	本会議(質疑)
3月1日(水)	予算審査特別委員会
3月2日(木)	予算審査特別委員会
3月3日(金)	予算審査特別委員会
3月6日(月)	予算審査特別委員会(予備日)
3月7日(火)	総務文教常任委員会
3月8日(水)	保健福祉常任委員会
3月9日(木)	都市経済常任委員会
3月14日(火)	本会議(一般質問)
3月15日(水)	本会議(一般質問)
3月16日(木)	本会議(一般質問(予備日))
3月20日(月)	本会議(委員長報告と質疑・討論・採決)

**小郡市議会会議録がご覧いただけます。**  
小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。  
なお、令和4年12月定例会の会議録は、令和5年3月上旬頃よりご覧いただけます。



**本会議・常任委員会のインターネット中継がご覧いただけます。**  
小郡市議会のホームページから、本会議(過去5年間)及び常任委員会の生中継・録画映像がご覧いただけます。

### 請願・陳情

市政等について意見や要望がある場合、どなたでも直接市議会に請願・陳情を提出することができます。  
議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といいます。請願と陳情にはその取扱いに次のような違いがあります。

#### 請願

定例会で審議し、その内容が妥当と認められるものについては、採択し、必要な対応を行うとともに、その結果を請願者に通知します。

#### 陳情

全議員にその写しを配布します。  
請願、陳情については、随時受け付けておりますが、各定例会での審議の都合上、締め切りがございます。  
請願・陳情の提出方法、その他ご不明な点等がございましたら、議会事務局にお問い合わせください。

### 議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、インターネットによるライブ中継及び録画中継の視聴を推奨しております。

なお、傍聴される場合は、サージカルマスクの着用と手指消毒の徹底及び間隔を空けた着席へのご協力をお願いしております。

また、当面の間、受付時に検温を実施させていただき、37.5℃以上の発熱がある方や体調がすぐれない方等の傍聴はお断りさせていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



### 編集後記

令和5年輝かしい新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大をはじめ、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う物価高騰により市民生活に大きな影響を及ぼす一年でありました。

本年こそは、市民の皆様笑顔が届けられるような記事がたくさん書けるように願うばかりです。

ところで、この議会だよりの表紙はテーマを『笑顔』で市民公募しています。皆さんからのたくさんのお応募お待ちしております。

引き続き、市民の皆様親しまれ、発刊を心待ちして頂けるような紙面づくりに取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。  
(黒岩 重彦)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 小野 壽義
- 副委員長 小坪 輝美
- 委員 黒岩 重彦
- 委員 甲斐田 典彦
- 委員 橋間 順平
- 委員 深川 博英